

# 整備費用について

資料 4

整備費用	カナー跡地案	現在地案
建設費（設計費含む）	4,302百万円	4,302百万円
外構工事費	190百万円	137百万円
仮設費	0百万円	178百万円
カナー跡地 用地・解体費	689百万円	0百万円
現市役所・マヒダ等 解体費	380百万円	380百万円
引越・備品費等	281百万円	281百万円
合計	5,842百万円	5,279百万円

  

財源内訳	カナー跡地案	現在地案
合併特例債	1,700百万円	1,700百万円
公共施設整備基金	2,300百万円	2,300百万円
財政調整基金	1,900百万円	1,300百万円
合計	5,900百万円	5,300百万円

カナー跡地案の場合、

- ・用地費・解体費がコスト増加要因となるが、仮設や移転のステップが円滑化されるとともに、市民への影響を最小限にすることが可能
- ・国の交付金事業の採択により、更なる財源確保が可能